

未評価 アブラナ科

オクヤマガラシ *Cardamine torrentis* Maxim. var. *torrentis* (Nakai) Ohwi

- 【選定根拠】 本県における分布がごく限られている種であるが、情報が不足している。
 【形態】 茎は太く、軟らかく、高さ30～50cm。茎葉は長さ2.5～15cm、側小葉は1～6対、茎の上部につく葉は頂小葉だけになる。頂小葉は卵形またはやや円形、長さ1.5～4cm、幅1～3.5cmで、側小葉よりずっと大きい。花期は5～7月。花弁は白色、長さ8～10mm。雄ずいは花弁より短い。果実は長さ2.5～3.5cm。
 【分布】 本州北部に分布する。日本特産。
 【県内の分布、生育状況】 中通り地方のごく限られた地域に分布し、深山の溪流沿いに生育しているが、確認されず現状不明である。

未評価 ベンケイソウ科

ホソバイワベンケイ *Rhodiola ishidae* (Miyabe et Kudo) H. Hara

- 【選定根拠】 本県における分布がごく限られている種であるが、情報が不足している。
 【形態】 多年草。雌雄異株。根茎は枝をわけ、先端は地上をはい、褐色の鱗片葉を密生する。花茎は鱗片葉の腋につき各枝先から1～3個ずつ出て、高さ7～25cm、葉とともに鮮緑色。葉は無柄、肉質で幅4～10mm、先端は三角形で上半分にそった鋸歯がある。花期は7～8月。花序は集散状で、花弁は淡黄緑色、線形、狭楕円形、長さは雄花で3～4mm、雌花で2.2～2.7mm、袋果は長さ10～14mm。種子は半月形で褐色。
 【分布】 北海道・本州中部以北に分布する。日本特産。
 【県内の分布、生育状況】 会津地方のごく限られた地域に分布し、高地の風当たりの強い礫地や岩場にまれに生育しているが、確認されず現状不明である。

未評価 ベンケイソウ科

コベンケイソウ *Sedum okuyamae* Ohwi

- 【選定根拠】 本県における分布が限られている種であるが、情報が不足している。
 【形態】 ベンケイソウによく似ているが、茎はやや細く、斜上し、多くは直立せず、花序のはじめの枝が短い。全体が平滑で無毛。茎は単生し、円柱状、高さ約30cm。葉は粉白緑色、対生し、鈍頭、純鋸歯があり、長さ3～9cm、幅2～4cm、黄褐色点があり、脈は細く不明である。花は多数、白緑色。がく片は狭三角形、長さ2mm、花弁はやや鋭尖頭、長さ約5mm。袋果はやや直立し、長さ4～5mm。
 【分布】 本州(北部)、中国に分布する。
 【県内の分布、生育状況】 浜通り地方、中通り地方平野部の限られた地域に分布し、草原や明るい林床など比較的乾燥したところに生育しているが、確認されず現状不明である。

未評価 ユキノシタ科

コガネネコノメソウ *Chrysosplenium pilosum* Maxim. var. *sphaerospermum* (Maxim.) H. Hara

- 【選定根拠】 本県における分布がごく限られている種であるが、情報が不足している。
 【形態】 根出葉は花時には枯れる。走出枝はよく発達し、白色の軟毛を密生。葉は扇形～円形で、長さ3～15mm、幅3～17mm、基部はくさび形または卵形。縁に5～10個の円い鋸歯があり、葉柄がある。花茎は高さ4～10mm、暗紫色を帯び、白毛を散生する。茎葉はふつう1対で小型。花期は4～5月。花は中央のもの以外は無柄。がく裂片は鮮黄色または黄緑色で、花後緑色となる。種子は卵円形で、隆条に乳頭状突起が並ぶ。
 【分布】 本州(関東地方以西)～九州、朝鮮、中国(東北部)、アムールに分布する。
 【県内の分布、生育状況】 中通り地方南部のごく限られた地域に分布し、山地の川沿いの陰湿地にまれに生育しているが、確認されず現状不明である。

未評価 ユキノシタ科

タチネコノメソウ *Chrysosplenium tosaense* (Makino) Makino

- 【選定根拠】 本県を北限とし、分布もごく限られている種であるが、情報が不足している。
 【形態】 地中に細く短い走出枝を出す。根出葉は有柄、葉身は長さ4～17mm、幅5～25mmでほぼ円形、基部は心形、ほぼ無毛、縁に5～9個の円い鋸歯がある。花茎は高さ5～10cmで、無葉または1～2葉を互生し、ほぼ無毛で、集散花序を頂生する。花期は4～5月。花は3mm位で短い花柄がある。がく裂片は花時に緑色で平開し、広卵形、鈍頭。花盤は黄緑色～淡緑色。種子は卵形で、1稜があり、微細な乳頭状突起が生える。
 【分布】 本州(関東以西)～九州に分布する。日本特産。福島県が分布の北限にあたる。
 【県内の分布、生育状況】 浜通り地方、中通り地方南部のごく限られた地域に分布し、林中または林縁の沢沿いの水湿地に生育しているが、確認されず現状不明である。

未評価 ユキノシタ科

ヒメウメバチソウ *Parnassia alpicola* Makino

- 【選定根拠】 本県における分布がごく限られている種であるが、情報が不足している。
 【形態】 多年草。数個の有柄の根出葉を束生する。葉身は腎円形または広卵形で、基部は心形、先端は円形。花茎は高さ5～15cmで、茎葉は1個、有柄で多少茎を抱く。花期は8月。葉は小さく径8～10mm。がく筒は短く、がく裂片は披針状卵形、鈍頭。花弁は広卵形で4～6mm、基部には明らかな爪があり、花期には平開する。雄ずいは約3mmで、仮雄ずいの裂片の数は少なく、ふつう3～5(12)裂、裂片の先に黄色の腺体がない。
 【分布】 北海道・本州(中部地方以北)に分布する。
 【県内の分布、生育状況】 会津地方のごく一部に分布し、高地の湿地草原にまれに生育しているが、確認されず現状不明である。